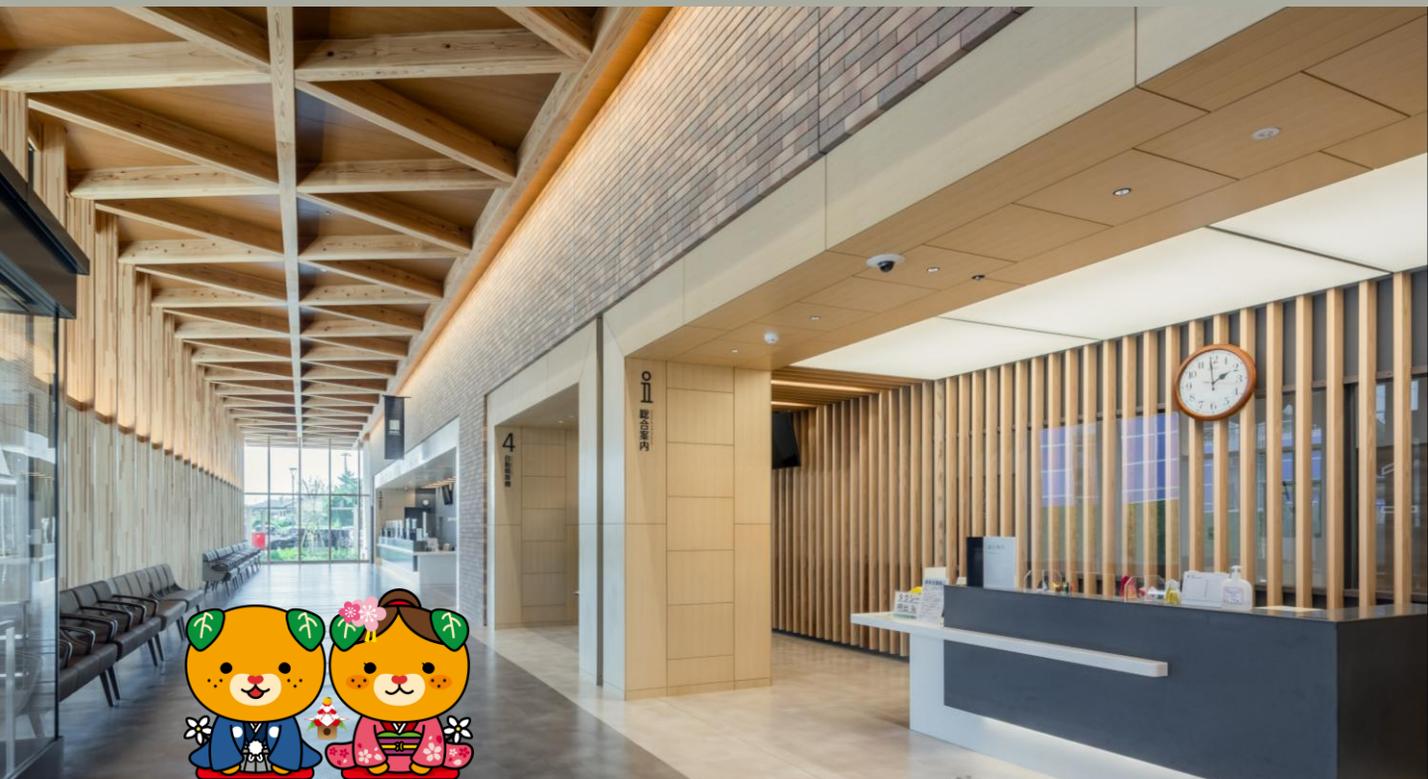


〒792-0042 愛媛県新居浜市本郷三丁目1番1号
代表電話番号：0897-43-6161 代表FAX番号：0897-43-2900
ホームページ：https://www.eph.pref.ehime.jp/epnh/



院長挨拶



新年あけましておめでとうございます。

平素より、当院の診療および地域医療連携につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

近年、県立病院を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、当院に求められる役割について、あらためて見つめ直すことが重要な時期を迎えていると認識しております。

当院はこれまで、救急医療や周産期医療を中心に地域医療を支えてまいりましたが、限られた医療資源を有効に活かし、地域全体として質の高い医療を提供していくためには、当院が担うべき機能を明確にし、地域の医療機関の皆様との役割分担と連携を一層深めていくことが不可欠であると考えております。

こうした考えのもと、昨年より地域医療連携室で開催する公開カンファレンスを年3回に増やし、現地参加だけでなくオンライン参加も取り入れることで、より多くの地域医療関係者の皆様と情報を共有できる機会の充実に取り組んでまいりました。また、紹介受け入れの流れについても見直しを行い、急性期医療を担う病院として、その役割をより円滑に果たせる体制整備を進めております。

今後も、日常診療を担っておられる地域の皆様と当院とが密接に連携することで、患者さんにとって最適な医療が地域の中で完結する体制の構築を目指してまいります。

皆様との顔の見える関係を大切にしながら、より良い医療連携のあり方について、ともに模索していければ幸いです。

本年も変わらぬ御支援、御協力を賜りますよう、よろしく御礼申し上げます。

院長 堀内 淳

新任医師紹介

令和7年8月～令和8年1月、新しく当院に赴任した先生をご紹介します



麻酔科



技師 中西 智紀 (なかにし ともき)

出身大学
卒業年
専門分野
専門医・認定医
趣味
ひとこと

愛媛大学
令和2年
麻酔科
なし
トレーニング
県立新居浜病院と県立今治病院で勤務することになりました。
短い期間ですがよろしくお願いします。

産婦人科



専攻医 田口 晴賀 (たぐち はるか)

出身大学
卒業年
専門分野
専門医・認定医
趣味
ひとこと

愛媛大学
令和2年
産婦人科一般
なし
ドライブ
東予地域の産婦人科医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いします。

救急科



専攻医 黒尾 健人 (くろお けんと)

出身大学
卒業年
専門分野
専門医・認定医
趣味
ひとこと

自治医科大学
令和4年
救急科
なし
ラジオ
東予での生活は初めてで、来て早速、新居浜太鼓祭りの壮大さに圧倒されました。精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。



これからよろしくお願いします！

生活習慣病予防外来の開設について

令和7年9月より、地域の診療体制充実の一環として、生活習慣病予防外来をはじめました！

近年、全国的に肥満症患者は増加傾向にあり、特に壮年期の男性の肥満割合が増えています。肥満症は高血圧や糖尿病の原因になり、放置すると命に係わる深刻な病気(心不全や脳卒中等)を引き起こす可能性があります。

当院では、循環器内科に「生活習慣病予防外来(肥満症外来)」を開設しました。早期から適切な治療を行うことにより、肥満に伴う疾病の予防・改善を行っています。

対象となる患者さん

- ✓ 以下のどちらかに当てはまる
 - ・ BMIが $35\text{kg}/\text{m}^2$ 以上
 - ・ BMIが $27\text{kg}/\text{m}^2$ であり、2つ以上の肥満に関連する健康障害がある
- ✓ 高血圧、脂質異常症または2型糖尿病のいずれかの診断を受けている
- ✓ 食事療法、運動療法を行っても十分な効果が得られていない

予約なしで受診可能です。
治療の対象となるか気になる方は
まずはお気軽にご相談ください！



治療の流れ

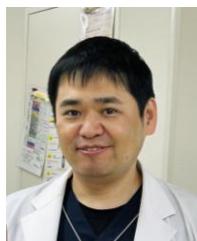
- ① BMI27以下となるよう体重目標を設定し、治療計画を立てます。
- ② 開始から6ヶ月間を目安に、医師の診察を受けながら食事・運動・行動療法を実施します。当院では管理栄養士からの栄養指導を行っています。
- ③ 食事・運動療法等の効果が不十分な場合に、薬物療法を導入します。
※薬物療法が始まって、食事・運動・行動療法は継続する必要があります。

食事・運動・行動療法

薬物療法



担当医



佐々木 康浩 医師 (日本循環器学会認定循環器専門医)

現在日本人の3人に1人は肥満(BMI25以上)です。
肥満の要因は自己責任だけでなく、社会や環境による要因も大きく影響します。
肥満を改善することで、将来の生活習慣病のリスクを減らすことが期待できます。
当院で減量治療をすることで、肥満に伴う合併症を予防・改善するサポートをさせていただきます。

近隣医療機関・行政機関の皆様へ

愛媛県の生産年齢人口の30%以上が肥満と言われています。
地域全体で肥満に伴う疾病を予防していくため、肥満に悩む方はぜひ当院へご紹介いただけますと幸いです。

公開カンファレンスの拡充ポイントを解説します！

地域連携連携の強化を図るため、今年度は、例年開催していた公開カンファレンスをパワーアップさせました。

①オンラインとのハイブリッド開催

お仕事の都合で間に合わない、距離が遠くて負担…そんな声にお応えし、対面参加だけでなくオンライン参加も可能としました！



▶案内・申込方法についても改善
チラシのQRコードから各自申込可能とし、メール可の施設にはチラシデータを送付することで、各施設内で展開していただきやすく改善しました！



勤務時間や場所にとらわれず参加しやすくなったことで
昨年度と比べ、各回3倍以上の方にご参加いただけました！

②多職種・複数診療科のコラボ

③年2回→年3回の開催

これまで単独診療科での開催でしたが、今年度はテーマごとに
関連する診療科・部門で同時開催としました。
さらに年2回から年3回の開催に増やし、参加機会を広げました。

▶第19回 救急科×小児科 令和7年7月17日(木)

- ①当院の建て替えから現在～CPA搬送状況について～
- ②小児の急変対応について
- ③救急シミュレーション動画・実践演習

▶第20回 心臓血管外科×循環器内科 令和7年9月25日(木)

- ①当院心臓血管外科のこれから
- ②循環器疾患 A to Z - 当院の循環器内科の守備範囲 -
- ③不整脈デバイスと遠隔モニタリングの管理について

▶第21回 脳神経外科×リハビリテーション部 令和7年11月26日(水)

- ①脳卒中診療～当院の取組みとこれから～
- ②急性期脳卒中リハビリテーション看護
～退院後の生活を見据えた食事・排泄の援助～
- ③当院の脳外科患者に対する摂食機能療法について
～摂食嚥下委員会の取組み～

幅広い職種の方に御参加いただき、普段関わらない分野にも
関心が持てる貴重な機会となりました！

④体験型イベントの実施

せっかく当院に足を運んでいただいた皆様と、対面ならではの交流が
もてるよう、講演の後に体験型イベントを企画しました。



- ▶救急科×小児科
人形を使った小児救急搬送時の
処置シミュレーション
- ▶心臓血管外科×循環器内科
ペースメーカープログラマーの操作体験
- ▶脳神経外科×リハビリテーション部
嚥下食の試食会・とろみ付け体験



席を立て一緒に体験することで、施設や職種を越えた会話ができ、
会場に来てくださった皆さんと積極的に交流することができました！

参加者の声

勤務日のため現地に行くことができませんでしたが、学びの
多い研修に参加できた事を嬉しく思います。
ハイブリッド形式に感謝です。(消防・救急隊員)

今後もハイブリッド開催を希望します。(医師)

実際にとろみをつけて飲んでみる事ができ、その場で気軽に
に質問にも答えていただけて凄く良かったです。(その他)

講演は平易な言葉で進めてくれて非常にわかりやすかった。
実技演習は他機関や医師とも距離が近く、和やかな雰囲気での
新鮮な体験だった。(消防・救急隊員)

初めての試みばかりでしたが、
各回沢山のご参加ありがとうございました。
今後も連携医療機関・行政機関等の皆様と
「顔の見える関係づくり」を目指してまいります。
来年度もよろしくお祈りします！



【お知らせ】

当院の経営改善に向けた検討を行う中で、各種行事の在り方についても見直しを進めた結果、
例年2月に開催しておりました地域医療連携交流会については、やむを得ず今年度より休止する運びとなりました。
これまでの開催にあたり多大なる御理解と御協力を賜り、ありがとうございました。
今後も公開カンファレンスなど、様々な形で地域医療連携の強化に向け取り組んでまいりますので、変わらぬご支援を
いただきますよう、よろしくお願いいたします。

小児科イベントを開催しました



新居浜病院にかかわる子どもたちを対象に実施したイベントをご紹介します！

12月、新居浜病院では、小児病棟に入院中の子どもたちを対象にとべ動物園のオンライン見学イベントを、小児科外来、院内保育所の子どもたちを対象にクリスマスイベントを行いました。

in 小児病棟(4西)

病院にいながら動物園へおでかけ。小児病棟と県立とべ動物園をオンラインで繋ぎ、入院中の子どもたちが園内を探検しました。このイベントは えひめ臓器移植推進財団が毎年、入院中で動物園に行くことができない子どもたちに 前向きに治療に臨んでもらおうと企画しているものです。

当日は、飼育員の方がリアルタイムで園内を散歩しながら、沢山の動物たちを紹介してくださいました。

新居浜病院では6名の入院児童が参加し、子どもたちはモニター越しに動物を観察したり、クイズに答えながら園内を探検して、積極的に楽しんでくれました。参加者には最後にしろくまピースのぬいぐるみとみきゃんのバッジがプレゼントがあり、みんな大喜びでした。



in 小児科外来

小児科外来には、プレゼントの入った大きな袋を抱えたサンタさんとみきゃんがやってきました。

当日受診していた子どもたちに、サンタさんがみきゃんグッズをプレゼントしました。プレゼントを受け取った子どもたちはとても嬉しそうにグッズを眺めていました。

記念撮影をしたり、握手をしたりして、子どもたちから大人気だったみきゃん。

大人気なのは子どもたちに限らないようで、小児科の先生や外来スタッフからも撮影を求める声がありました。



in 院内保育所

院内保育所には、当院職員の3歳以下の子どもたちが通っています。子どもたちはずっとワクワクしていたようで、窓からサンタさんとみきゃんが見えると大はしゃぎ。サンタさんからは、保育所でたくさん遊べるようにと、おもちゃのプレゼントがありました。子どもたちは、プレゼントのお返しに、歌を歌ってくれました。

最初は少し驚いた様子の子もいましたが、最後はみんなで仲良く記念撮影やハイタッチ！素敵な思い出ができました。



また来年くるね～！



普段とは少し違った特別な雰囲気にも、職員も笑顔になれた時間でした。今後も、治療に臨む子どもたちが楽しい時間を過ごせるような企画を行っていきます。

第1回「ケアマネージャーと病院看護師の意見交換会」を開催しました！

退院支援、在宅移行の過程における課題について、病院と地域のケアマネのお互いの立場から意見を出し合い、より円滑な連携につなげていくことを目的に、意見交換会を開催しました。

第1回は17名のケアマネージャーにご参加頂き、院内看護師16名とチームに分かれて話し合いました。初めての開催でしたが、活発な意見が飛び交い、有意義な時間となりました。

情報提供の
窓口や訪問の
タイミングが
わからない



家族がケアマネの
名前や事業所名を
知らないことが多い



研修終了後のアンケートには、「顔の見える関係を築くことができた」「困っていることが伝えられた」、「自分の思っている意見を共有・共感できた」などのご意見を頂き、意見交換会の開催は大好評でした。次年度も開催予定です。多数のご参加お待ちしております。



みんなの意見が聞けて、
楽しい時間だったね。



地域連携室では、患者様が不安なく自宅に退院できるよう、また適切な病院へ転院できるよう、地域の行政機関や医療機関等と連携しています。

外来診察時や入院時に不安なことがあれば、いつでもお気軽にご相談ください。

愛媛県立新居浜病院 地域医療連携室
0897-31-8868 (連携室直通)

周術期等口腔機能管理について

昨今、手術に伴う合併症予防の観点から、周術期口腔機能管理の重要性が一層高まっているところです。当院には歯科が併設されていないため、当院で手術を予定されている患者様については、地域のかかりつけの歯科医療機関へご紹介させていただき、口腔機能管理を依頼させていただいております。

✔ なぜ周術期等口腔機能管理が必要？

全身麻酔を行うことにより、体の抵抗力が低下し、口腔内の感染症や誤嚥性肺炎などの合併症が起こりやすくなります。

合併症を予防・緩和して、手術を良好な状態で乗り切るために、手術前から十分な口腔ケアを行って口腔内環境を整え、口腔状態を適切に管理することが大切です。

✔ 患者様へお願い



- ▶ かかりつけ歯科をもちましょう。
- ▶ 手術が決まり、主治医より歯科受診を勧められた場合は、当院からお渡しする紹介状を持って受診してください。（受診予約は当院で調整します）
- ▶ 退院後も継続して歯の治療をしましょう。

✔ 歯科医療機関の皆様へお願い



- ▶ 当院で手術を予定されている患者様について手術に伴う合併症予防の観点から、術前の口腔ケアをお願い致します。
- ▶ 受診日については、当院地域医療連携室から手術日を踏まえてご相談させていただきます。
- ▶ 診察後は、手術日までに患者様の歯の状態を返書にてお知らせください。

手術前の口腔ケアで、患者さんにより安心して手術を受けていただけるようご協力をお願いします！

